

## これまでの活動

### 顧問医を囲んでの家族相談会 (11/17)

○ゆめあい和光作業所と家族会との絆を築く試みとして顧問医である岡田聡先生を囲んで相談会を開催しました。

利用者の掛かり付けの専門医には聞きにくいこと、すなわちクスリのこと、病気の快復状況の様子、日ごろの生活の様子、障害者の就労のことなど幅広い分野に亘り活発な意見交換が行われました。

○ 具体的には以下の質問や相談が行われました。

- 「くすり飲むと太りますか？」
- 「喉が乾くのはくすりの影響ですか？」
- 「ろれつが回らなくなるのは？」
- 「鼻が詰まるのは？」
- 「飲み忘れたときはどうすればいいの？」
- 「今後の新しいくすりの開発の見通しは？」
- などくすりに関しての質問が多く出ました



○ また、「病気を開示して就労することの悩み」・「掛かり付けのお医者さんとの信頼関係」や「日ごろの行動についてのアドバイス」・「お勧めの書物」などさまざまなことについてご相談しました。

○ お茶を飲みながら、食事をしながらでしたが、とても分かりやすいご説明をいただきみなさん納得の様子で、参加して良かったと言う声が多く出ました。

○ 長年のご経験を交えての判りやすいお話に、心が癒され、かつ元気をいただきました。これからも機会を見つけてこのような相談会を計画していきたいと思います。

### 感想

日頃悩んでいる事、気にかけている事を短時間でしたが先生には親身になって答えて頂きとても有意義な一時でした。この病気は人とのコミュニケーションをとることが苦手で家に閉じこもりがちになります。

まずは外に出ること。自分勝手にならない場所で誰かと会話し、人間関係を築き人とのつながりをなくさないことが大事。

就労についてももし3ヶ月しか続かなくてもマイナスに考えるのではなく、前向きにとらえ良く3ヶ月続いたとほめ、そのうち本人に合う所が必ずあるだろうと勇気づけることも大切だそうです。

また「上げ膳据え膳」の居心地の良い生活では本人にとっては自立できず良くないこと。親としてつい手助けしてしまいがちですがそこはじっと我慢して本人の回復する力を応援し続けたいと思いました。(Y)